



【日本プロテオーム学会通信 No. 36】

2010. 5. 7

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。

【講演会のご案内】

国立がんセンター研究所の近藤 格先生が下記の講演会を主宰されます。会員の皆様にご案内いたします。

JHUP0 会員の皆様へ

若手研究者が集まり、活動性の高い同世代の研究者の話を聴きリラックスして情報交換を行う、という趣旨の講演会を企画しました。10年も20年も上の方のお話しはそれはそれで勉強になります。しかし、いろいろな意味で差がありすぎて、どこか人ごとという感じがします。時代背景を共にする研究者が活躍している話を集中的に聴き、次世代の研究を自分の問題として共に考えるというのも楽しいのではないかと思いました。

今回の講演会は、45歳以下の若い研究者で、元気が出るような、あるいは親しみをもってもらえるような方に講演をお願いしています。プロテオミクス分野で先端的な商品を取っている企業の方にも講演をお願いしました。参加費を無料にすることで負担を少なくし、財政的に厳しいことが多い若手の方が参加しやすいようにしています。座席数は限られていて事前申込制です。

講演者は45歳以下ですが、参加者には年齢制限を設けていません。最近の若い研究者はどうしているのか、ご興味のある方もどうぞご参加ください。

この講演会は、若手研究者の会 Bom Descanso Society が主催するものです。Bom Descanso Society はこれからもユニークな講演会を開催しますので、どうかよろしく願います。

近藤 格

国立がん研究センター研究所

プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクト

若手研究者による最前線プロテオミクス～関連技術から医療への応用～

会期：2010年6月3日（木）

場所：大手町ファーストスクエアカンファレンス イーストタワー2F

講演会：10:10-18:10

懇親会：18:10-19:40

定員：150名

参加費：無料

懇親会費：3500円（事前振込）、5000円（当日支払い）

ウェブサイト：<http://www.dialogue2005.com/Proteome/index.html>

基調講演

- がんの遺伝子学からがん治療学へ：肺癌の分子病態を標的としたバイオマーカーと治療薬の開発戦略 醍醐弥太郎（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター）
- 質量分析計を用いた創薬基盤研究 川村猛（東京大学先端科学技術センター システム生物学ラボラトリー 分子生物医学分野）
- 創薬を目指した相互作用解析：低分子と抗体 津本浩平（東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻 生命分子解析学研究室）
- 大規模抗体ライブラリーを基盤としたがん診断バイオマーカー・分子治療標的の探索 本田一文（国立がん研究センター研究所 化学療法部）

一般講演

- プロテインマイクロアレイによる大腸菌酵素センタータンパク質の機能解析 笹倉由貴江（横浜国立大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー）
- レドックスプロテオミクスによる NADPH オキシダーゼの活性酵素シグナルの研究 荒川憲昭（横浜市立大学大学院生命ナノシステム科学研究科）
- 網羅的プロテオミクスで得られた情報の絞込み～トランスクリプトーム解析から得られる教訓 西村基（千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学）

企業講演

- バイオマーカー探索、バリデーションのための新しい質量分析技術とワークフロー 津幡卓一（エービーサイエックス株式会社）

- タンパク質の調整、効率的な可溶化抽出について～プロテオミクス研究・機能性タンパク質研究のツール～ 田光香（メルク株式会社）
- プロテオーム・バイオマーカー探索の新戦略 相良聡（スクラム株式会社）
- 調整中(日本ミリポア株式会社)
- プロテオミクス研究におけるソフトウェアの紹介 根岸公祐（インフォコム株式会社）
- SWAP: A High Throughput Automated Microfluid Alternative to Western Blotting, Kiyoshi Takayama（キャリパーサイエンス日本支店）

ランチョンセミナー

個別化医療のためのがんバイオマーカー開発：レーザーマイクロダイセクション技術とプロテオーム解析 近藤格（国立がん研究センター研究所プロテオーム・バイオインフォマティクス・プロジェクト）

【日本プロテオーム学会通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい（宛先は hirano@yokohama-cu.ac.jp）。ご意見を【日本プロテオーム学会通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】は、日本プロテオーム学会事務局(cljhupo@secretariat.ne.jp)にお願いいたします。